

3 産業関係

(1) 栃木県の輸出入動向

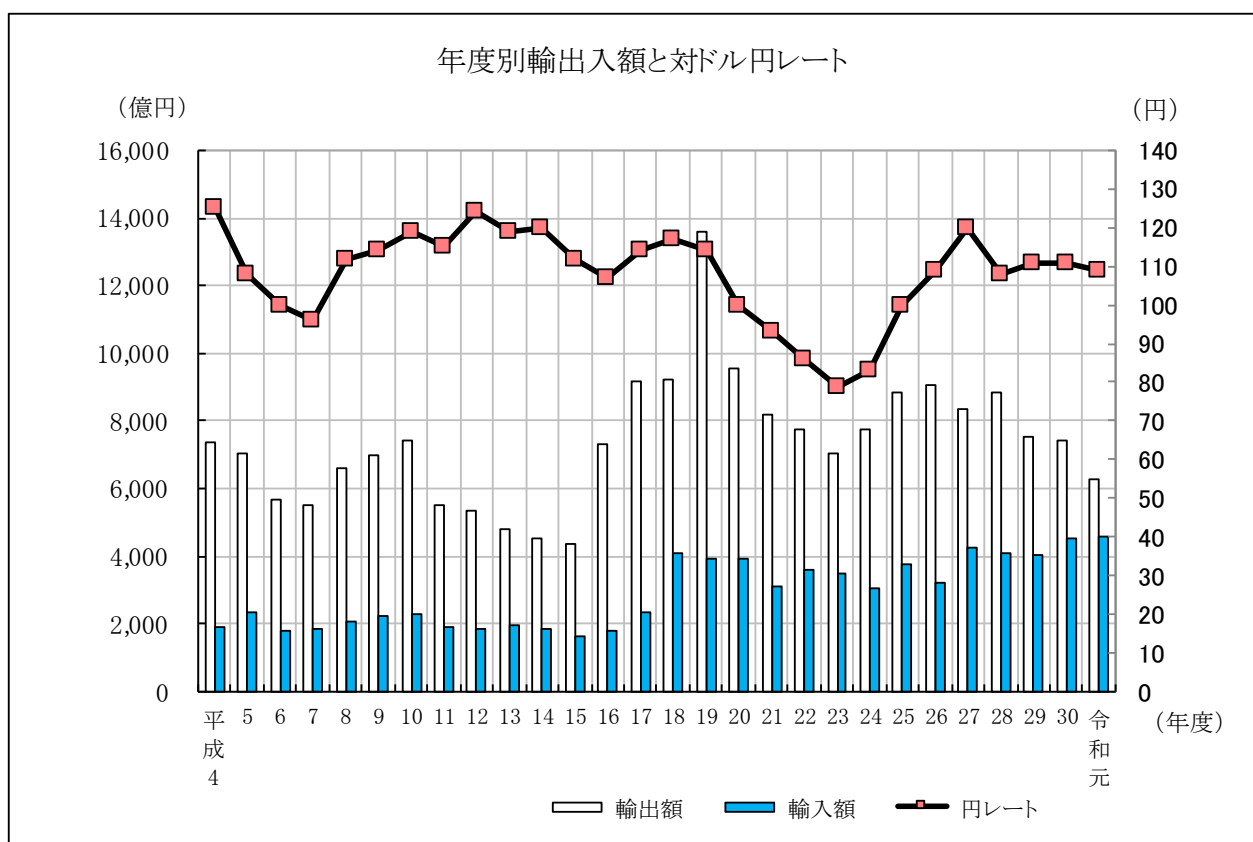
※令和2（2020）年度栃木県国際経済交流調査

年度別輸出入額と対ドル円レート

年度	輸出額 (百万円)	輸入額 (百万円)	円レート (円)
平成4	737,301	191,194	125
5	706,169	232,357	108
6	567,710	177,900	100
7	550,050	182,637	96
8	659,921	208,439	112
9	699,789	223,158	114
10	739,265	226,185	119
11	553,076	192,272	115
12	535,893	187,011	124
13	482,136	193,146	119
14	453,984	183,381	120
15	433,452	162,520	112
16	732,149	176,437	107
17	915,197	234,947	114

年度	輸出額 (百万円)	輸入額 (百万円)	円レート (円)
18	922,188	408,121	117
19	1,358,407	394,168	114
20	957,194	393,136	100
21	818,902	311,128	93
22	775,230	357,634	86
23	702,110	347,278	79
24	772,376	303,441	83
25	885,991	375,876	100
26	907,406	319,681	109
27	834,233	422,662	120
28	881,978	408,481	108
29	754,590	400,525	111
30	739,408	454,239	111
令和元	629,267	456,987	109

対ドル円レート:財務省貿易統計の外国為替相場(年平均レート)



※1 調査方法 インターネットおよび郵送によるアンケート調査

2 調査対象期間 令和元(2019)年4月1日から令和2(2020)年3月31日までの1年間

3 回収率 53.1%(調査対象は県内に立地する事業所1,000社、うち回答531社)

(2) 栃木県の外国人宿泊者数 国・地域別順位

○平成27年

順位	国・地域	延べ宿泊者数	割合
1	台湾	37,427人	20.6%
2	中国（大陸）	18,807人	10.4%
3	米国	16,575人	9.1%
4	タイ	9,237人	5.1%
5	韓国	7,187人	4.0%
	その他	92,017人	50.8%
	計	181,250人	100.0%

○平成28年

順位	国・地域	延べ宿泊者数	割合
1	台湾	51,373人	24.4%
2	中国（大陸）	22,393人	10.7%
3	米国	16,260人	7.7%
4	タイ	11,501人	5.5%
5	韓国	9,093人	4.3%
	その他	99,541人	47.4%
	計	210,161人	100.0%

○平成29年

順位	国・地域	延べ宿泊者数	割合
1	台湾	44,018人	19.9%
2	中国（大陸）	22,688人	10.2%
3	米国	18,163人	8.2%
4	タイ	14,813人	6.7%
5	香港	13,167人	5.9%
	その他	108,778人	49.1%
	計	221,627人	100.0%

○平成30年

順位	国・地域	延べ宿泊者数	割合
1	台湾	52,025人	23.3%
2	中国（大陸）	32,889人	14.8%
3	米国	18,559人	8.3%
4	韓国	14,887人	6.7%
5	タイ	13,641人	6.1%
	その他	90,903人	40.8%
	計	222,904人	100.0%

○令和元年

順位	国・地域	延べ宿泊者数	割合
1	台湾	48,918人	19.8%
2	中国（大陸）	36,303人	14.7%
3	タイ	18,306人	7.4%
4	香港	13,576人	5.5%
5	韓国	11,159人	4.5%
	その他	118,916人	48.1%
	計	247,178人	100.0%

○令和2年

順位	国・地域	延べ宿泊者数	割合
1	中国（大陸）	6,820人	16.8%
2	台湾	6,395人	15.8%
3	タイ	3,423人	8.5%
4	米国	2,829人	7.0%
5	香港	2,138人	5.3%
	その他	18,875人	46.6%
	計	40,480人	100.0%

※出典 栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査

令和2(2020)年度 栃木県産農産物の輸出実績について

令和3(2021)年6月10日

農政部経済流通課

- 令和2(2020)年度の県産農産物の輸出額は、3億1,100万円となり、前年度(3億1,100万円)と同水準。
- コメは、海外における中食需要が堅調であったため輸出額が大幅に増加。
- 一方、牛肉、いちご、なしは新型コロナウイルス感染症の拡大による海外での外食需要の落ち込み、航空便の減少、天候不順による不作等の影響により、輸出額が減少。

1 輸出額

3億1,100万円(前年度比100%)

2 主な輸出品目の内訳

品目	輸出額(前年度比)	割合	主な輸出先(上位国・地域)
牛肉	1億1,800万円(81%)	37.9%	アメリカ、シンガポール
コメ	9,900万円(238%)	31.8%	アメリカ、シンガポール、香港
花き	7,500万円(105%)	24.1%	EU、中国、アメリカ
いちご	1,000万円(30%)	3.2%	タイ、マレーシア、シンガポール
なし	900万円(46%)	2.8%	マレーシア、タイ、インドネシア

3 令和3年度の主な取組

県産農産物輸出額目標10億円(R7年度)に向けて、以下に取り組みます。

(1) 輸出産地・生産者拡大支援

輸出に取り組む生産者の輸出ステップに応じて支援し、継続可能な輸出産地を育成します。

(2) 輸出先国の状況に応じた戦略的販路拡大

輸出先国の課題を分析し、戦略的に事業を展開することで販路拡大を図ります。

(3) デジタル技術を活用したプロモーション

海外向けPR動画やウェブサイトなどデジタル技術を活用した情報発信により、輸出先国の需要喚起を図ります。

